



## 青森県感染症発生情報 (2018年第45週)

### I 第45週の発生動向 (2018/11/5~2018/11/11)

1. 咽頭結膜熱については、**五所川原保健所管内**で**警報**が継続しています。
2. 伝染性紅斑については、**むつ保健所管内**で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、むつ保健所管内で定点当たり報告数が6.00となり、急増しています。
3. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型33人、B型2人でした。

### II 第45週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	8	0.62	26	1.73			1	0.14					35	0.54	26
	RSウイルス感染症	4	0.50	6	0.67	6	0.60	4	0.80			2	0.50	22	0.52	-5
小児科	咽頭結膜熱			2	0.22	2	0.20	11	2.20			2	0.50	17	0.40	-8
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	4	0.50	5	0.56	9	0.90	1	0.20	4	0.67	11	2.75	34	0.81	0
	感染性胃腸炎	39	4.88	23	2.56	48	4.80	19	3.80	15	2.50	8	2.00	152	3.62	18
	水痘	3	0.38			1	0.10			2	0.33			6	0.14	-6
	手足口病	6	0.75	4	0.44	5	0.50	3	0.60	20	3.33	1	0.25	39	0.93	2
	伝染性紅斑					5	0.50			2	0.33	24	6.00	31	0.74	19
	突発性発しん	2	0.25	1	0.11	6	0.60			2	0.33	3	0.75	14	0.33	-2
	ヘルパンギーナ			2	0.22	1	0.10							3	0.07	-2
	流行性耳下腺炎	1	0.13	1	0.11	6	0.60			4	0.67	1	0.25	13	0.31	9
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎					2	1.00	2	2.00					4	0.36	3
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎										6	6.00		6	1.00	2
	無菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	1

は警報、 は注意報。「空欄」:患者報告無し。

## 感染症の窓

### 伝染性紅斑 (五類定点把握対象疾患)

伝染性紅斑の病原体は、ヒトパルボウイルス B19 です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ(ほっぺ)病」とも呼ばれています。幼児(2~12歳)に多く、乳児、成人が罹患することもあります。

10~20日の潜伏期間の後、頬に境界鮮明な紅い発疹がみられ、続いて手・足に網目状・レース状・環状などと表現される発疹がみられます。頬に発疹が出現する7~10日くらい前に微熱や風邪のような症状が見られることが多く、この時期にウイルスの排せつ量が最も多くなります。発疹が現れたときにはウイルスの排せつはほとんどなく、感染力はほぼ消失しています。

青森県では例年春から夏にかけて報告数の増加がみられていましたが、今年は第41週から報告数が増加しています(図)。

通常、咳やくしゃみなどの飛沫又は接触により感染するため、手洗いを励行するなどの一般的な感染予防を心がけましょう。妊婦に感染すると、胎児水腫や流産の可能性があるので、風邪のような症状の方に近づかない、流行時期には人混みを避けるなどの注意が必要です。

○詳しい情報はこちらをご覧ください [伝染性紅斑\(国立感染症研究所HP\)](#)

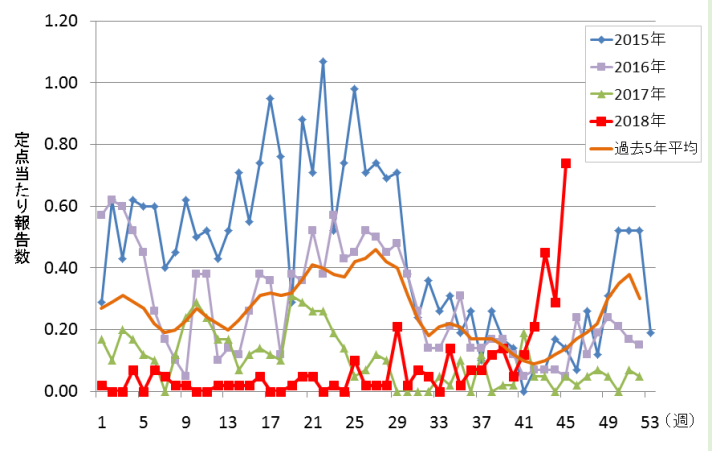



図: 青森県における伝染性紅斑 定点当たり報告数 (2015年~2018年第45週)



伝染性紅斑とは 

### Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、五所川原2人、上十三1人 （2018年計：169人）
- ・急性弛緩性麻痺（五類全数把握対象疾患）：上十三1人 （2018年計：1人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：むつ1人 （2018年計：58人）

### Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

A型インフルエンザ患者（咽頭ぬぐい液、11/2、11/6）・・・インフルエンザウイルス AH1pdm09：弘前2人

### Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第42週～2018年第45週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
42	H30.10.15 ~ H30.10.21			腸チフス1人	つつが虫病1人		百日咳1人
43	H30.10.22 ~ H30.10.28	アメーバ赤痢1人	百日咳1人			クリプトスポリジウム症9人	百日咳3人
44	H30.10.29 ~ H30.11.4	百日咳2人	E型肝炎1人				
45	H30.11.5 ~ H30.11.11					急性弛緩性麻痺1人	百日咳1人

### Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2018年第42週～2018年第45週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
42	H30.10.15 ~ H30.10.21	1					
43	H30.10.22 ~ H30.10.28	1	1				
44	H30.10.29 ~ H30.11.4	1	1			1	
45	H30.11.5 ~ H30.11.11	1			2	1	

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第44週までの累計）

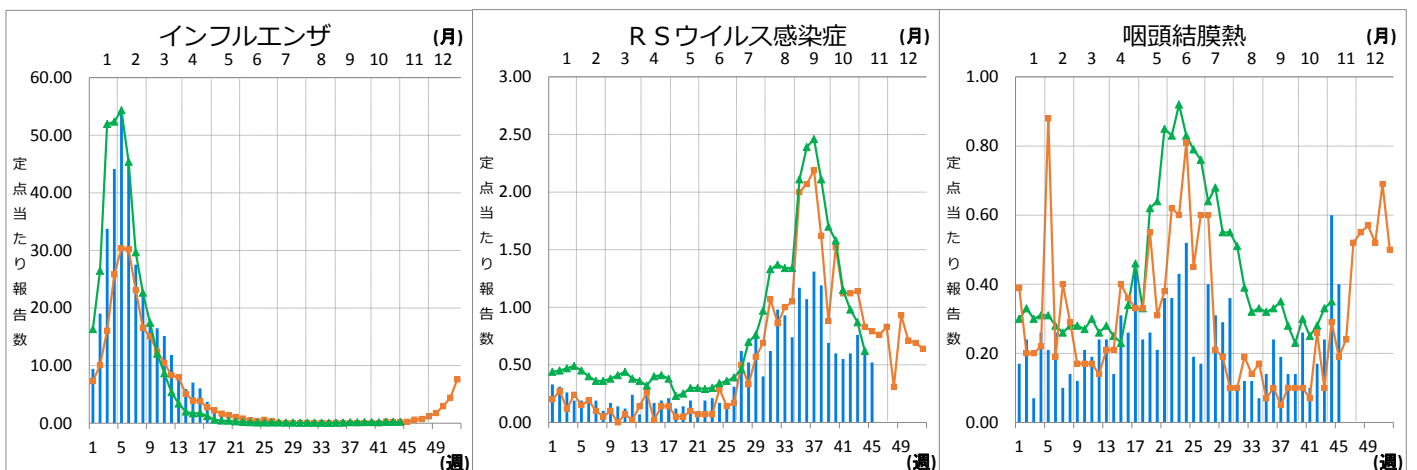
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	18217	3	211	3603	33	19	382	850	10	6
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	5	3	2	74	1	3	128	165	279	3
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	45	13	2	1879	30	713	208	1837	98
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	550	23	180	581	1076	63	406	29	2670	362
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	5811	152	110	67	8776	1884	245	21		

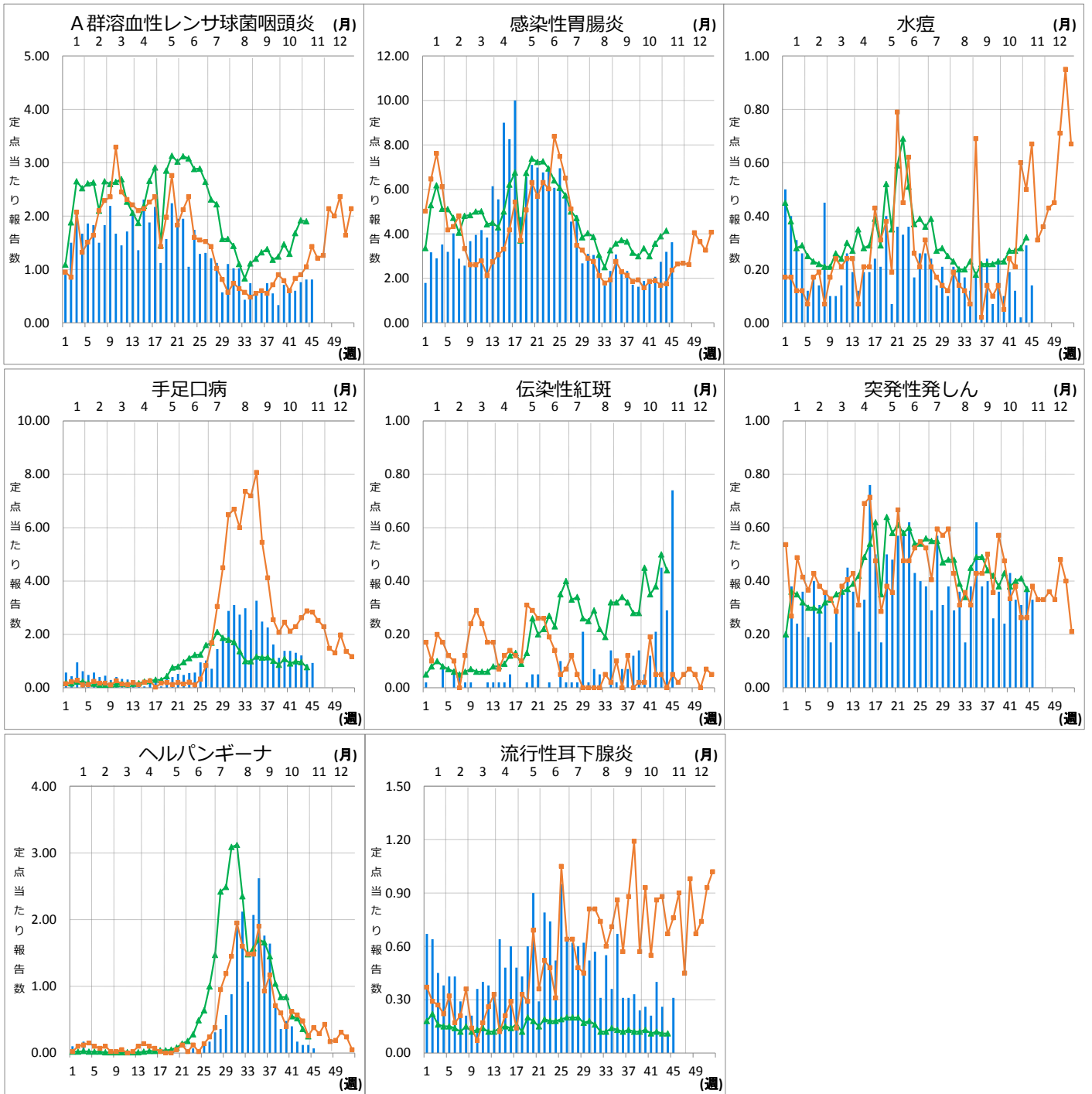
青森県（2018年第1週～2018年第45週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	169	3	32	1	2	1	5	6	3	21
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	1	1	9	3	4	4	1	12	4	30
分類	五類	五類	五類							
疾病名	播種性クリプトコックス症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳							
累積報告数	1	5	58							

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第45週、ただし全国は前週）

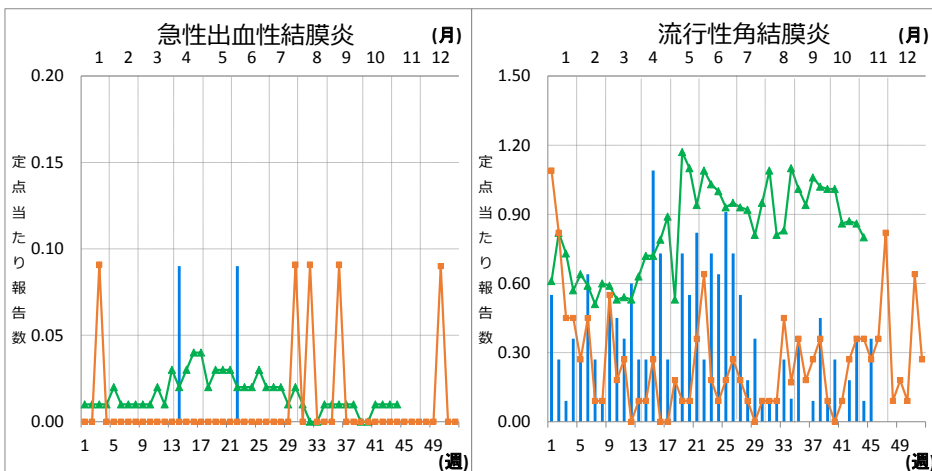
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





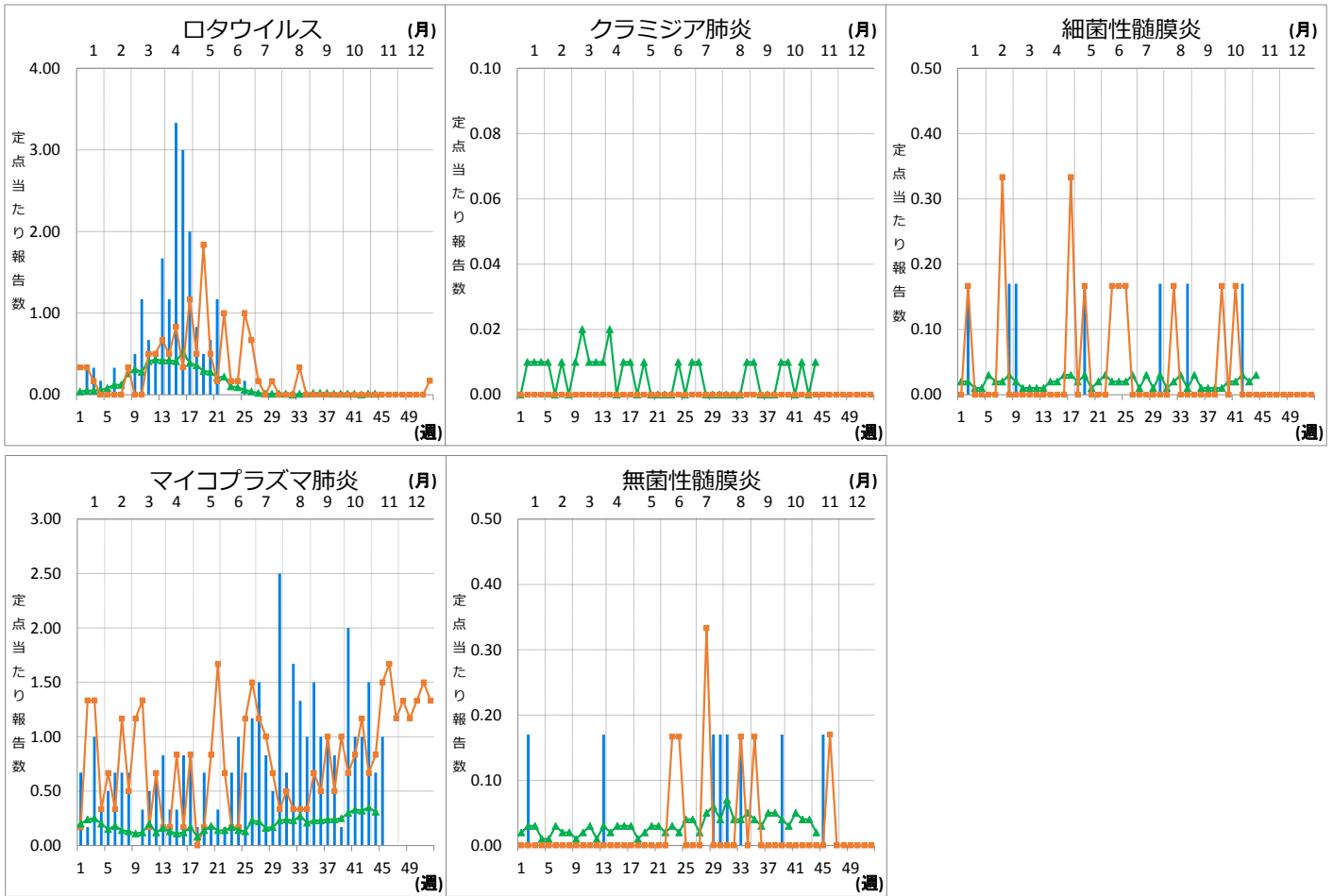
**Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第45週、ただし全国は前週)**

**グラフの説明** —■—は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



**X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第45週、ただし全国は前週）**

**グラフの説明** —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



**XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況**

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第45週  
報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-39週	40-43週	44週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	0	1	0	9
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	0	26	0	131
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	0	1	0	15
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	0	26	0	238